

幾何入門 演習問題 4 (2012 年 5 月 10 日)

担当：境 圭一

1. (1)  $f(x, y) := x^2 + y^2$  で定義されるスカラー場 (二変数関数)  $f : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  と,  $\ell(t) := (-t, \sqrt{1-t^2})$  で定義される曲線  $\ell : [-1, 1] \rightarrow \mathbb{R}^2$  について, 線積分

$$\int_{-1}^1 f d\ell := \int_{-1}^1 f(\ell(t)) \left| \frac{d\ell}{dt}(t) \right| dt$$

を計算せよ.

- (2)  $h(\theta) := -\cos \theta$  とおく.  $t = h(\theta)$  とパラメータ変換して得られる曲線  $\tilde{\ell} := \ell \circ h : [0, \pi] \rightarrow \mathbb{R}^2$  について, 線積分  $\int_0^\pi f d\tilde{\ell}$  を計算し (1) と比較せよ.

2. ベクトル場  $V(x, y) := \begin{pmatrix} y \\ x \end{pmatrix}$ ,  $W(x, y) := \begin{pmatrix} y^2 \\ x^2 \end{pmatrix}$  を考える.

- (1)  $\text{grad}(f) = V$  となる  $f$  (ポテンシャル) を求めよ. また,  $\ell(t) := (t, t)$ ,  $m(t) := (t, t^2)$  で定義される二つの曲線  $\ell, m : [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}^2$  に対し  $\int_0^1 V \cdot d\ell = \int_0^1 V \cdot dm$  が成り立つことを直接計算で確かめよ.

- (2)  $V$  を図示し, それを参考にして  $z = f(x, y)$  のグラフを描け.

- (3)  $\int_0^1 W \cdot d\ell$  と  $\int_0^1 W \cdot dm$  を計算し,  $W$  は勾配ベクトル場ではないことを示せ.

3. (1)  $U, V \subset \mathbb{R}^2$  が弧状連結で  $U \cap V \neq \emptyset$  のとき, 和集合  $U \cup V$  も弧状連結であることを示せ.

- (2)  $U, V \subset \mathbb{R}^2$  が弧状連結で  $U \cap V \neq \emptyset$  のとき,  $U \cap V$  は弧状連結でないことがある. そのような例を挙げよ.

レポート問題 4 (5/17 の講義の最初までに提出してください)

1.  $\mathbb{R}^2$  上のベクトル場  $V(x, y) = \begin{pmatrix} 3x^2 - 6xy + 3y^2 \\ -3x^2 + 6xy - 3y^2 \end{pmatrix}$  を考える.  $\ell(t) := (t, 2t^2)$  で定義される  $\mathbb{R}^2$  上の曲線  $\ell : [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}^2$  に沿った線積分  $\int_0^1 V \cdot d\ell$  を計算せよ (ヒント: ポテンシャルを考えよ)

2. 一次元の円周  $S^1 \subset \mathbb{R}^2$  を

$$S^1 := \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid x^2 + y^2 = 1\}$$

で定義する.  $S^1$  は弧状連結であることを示せ.